

【講演内容】

- ・いじめが起きるサイクル（悪循環）は以前から何となく分かっていましたが、改めて考えるきっかけとなりました。何気ない普段の家庭生活や地域での暮らしが基盤だと思います。そこから学校でのトラブルに繋がると再認識し、今まで以上に子どもとの関わりに気を配ろうと思いました。また、普段遊んでいる子どもの友達についての様子も（いたずら書きする子）、見方が変わると思いました。とても貴重な時間でした。ありがとうございました。（30代女性）
- ・普段の子どもへの接し方について、考えさせられることが多々ありました。「自分の子に限って」と決めつけることなく（加害・被害共に）見守っていきたいと思いました。（30代女性）
- ・大変貴重なお話が聞けました。やはり子どもの自尊心を育むことが子育ての中で家庭の中で大切なことだと再認識しました。日々思い返して子どもと向き合いたいと思いました。ありがとうございました。（30代女性）
- ・自分も子どもにプレッシャーをかけすぎているのではないかと、話しづらいと思っているのではないかと考えさせられました。子どもたちのSOSをしっかり見つけられるようにしていきたいと思います。（30代女性）
- ・忙しさに振り回され、何事も深く考える余裕がなかったのですか、今回このような機会に恵まれ、改めて子育てについて振り返ることができました。自分自身が子どもと向き合って生活できているのかわかりませんが、今回の話を機に、またもう一度真正面から子どもそれぞれに対して接していきたいと思います。（30代女性）
- ・いじめ＝生活環境と心の豊かさが関わっているのかと感じました。人権も同じく子ども時代から生活環境と心の豊かさで考え方も変わっていくのかと思いました。子を持つ親として、今回のセミナーを通して、改めて子育てを見直し、考えることができました。（30代女性）
- ・本日学んだことを生かし、児童一人ひとりが安心して楽しく暮らせるよう努めたい。（40代男性教職員）
- ・福祉の仕事をしています。人権は生まれながらにして持っているものです。大切にしたいです。（40代男性）
- ・いじめと人権、表面化していない実態、人権に対する認識と理解が深まる講義でした。今後の日々の生活、各種活動において生かしていきたいと思います。（40代男性）
- ・負のスパイラルを無くし、ほめることによって+（プラス）の連鎖が確立できるよう、まずは家庭で子どもと接したい。とても勉強になりました。（40代男性）
- ・家庭での教育の中で、人権について話し合うことが必要だと感じました（40代男性）
- ・もっと沢山の方に聞いていただきたいですね。（40代女性）
- ・先生方のお話とても分かりやすく良かったです。学校のことは高学年になるとなかなか話してくれませんが、学校の懇談会などいろいろ出かけますが、学校の方も問題を起こすのがいやなのか父母との間に溝ができてきているのが分かります。学校でのこのようなセミナーを沢山してほしいです。（40代女性）
- ・子どもの話をもっとゆっくり聞こうと思います。自尊感情を高められるように接していきたい。（40代女性）
- ・介護の仕事をしているので人権には関心がありました。また参加したいと思います。（40代女性）
- ・若いお母さん、そのお母さんの彼から虐待を受けて命を落としてしまった女の子のニュースを最近見ました。幼児の人権は誰が守ってあげれば良いのか、心が苦しくなりました。お婆さんのテーブルのお話も以前から知っていましたが、お婆あさんが亡くなってから気づかず、生前中に気づいて良かったと思います。誰も老いてしまうのに、今現在元気な私たちは優しさに欠けてしまっているような

気がします。(40代女性)

- ・いじめ加害者の要因を取り除くべきが大切なことだと感じた。小学校に入学してきた時点でストレスを抱え、攻撃的な児童が増えているように思う。子どもへはもちろん、出産前、出産後の母親に対する子育て支援も大切なのではないだろうか。ほめられ認められて育ってきた子は落ち着いている。(40代女性 教職員)
- ・小林先生が最後に言った「いじめ○にするのは簡単です。謝らせて、『許します』と言わせて、表面的なものだけで解決したとするならば…」でもそれは違うということがよく分かりました。私の子も小4でPDS Dでした。8年たった今もまだ心で引きずっています(人間関係)。いじめはその後も影響が続くことを、よく学校の先生にも分かってもらいたかったです。(40代女性)
- ・私はいじめに対していじめている子もすごく悩んでいると思います。子どものいじめは家庭の中に問題があると思います。家庭の中がうまく言っている子はわりと優しく素直な子が多いと思います。私も子どもに対しての口の利き方に気をつけたいと思いました。(40代女性)
- ・三條先生のお話を聞いてから、小林先生の順だと分かりやすかったかも。大人になってもいじめがあるのだから、いじめをしてはいけないことを小さい頃から学校や家庭で教えていかなければダメだと思う。(40代女性)
- ・中学生の子がいますが、家では自分の言いたいことをはっきりと言えるのですが、学校に行くとなかなか自分の言いたいことが言えないようで、心配しています。家ではなるべく外でも自分の意見を言えるようにと声かけをしていきたいです。いろいろ勉強になりました。ありがとうございました。(40代女性)
- ・両講師とも、とても分かりやすい講演であった。具体的な相談内容やデータの裏付けが有り、説得力のある講演だった。人権のとらえ方を詳しく知ることができた。(50代男性)
- ・児童に、誇りと自信を持たせるように、周りを大切にすることを育てていきたい。(50代男性 教職員)
- ・小林先生のお話は、具体的なチャイルドラインの内容で興味深かった。助けを求めている子どもたちの多さも感じた。子どもに寄り添い、子どもの言葉に耳を傾けることを大切にしていきたいと思った。三條先生のお話からは、人間は尊厳を大切にされることが生きることにつながるのだと思った。人として大切に扱うことの重要性を子どもたちに伝えていきたい。(50代女性 教職員)
- ・平等に人権がある社会だとは思わない。強きものには人権を振りかざし、弱きものには人権を見失う。(30代男性)
- ・人権を侵害したところにいじめがあるとしたら、いじめは全人類に起きている。学校だけの問題ではないことが分かった。だとしたら日本にいじめや貧困が多いことはなぜなのか？戦争をなくせないのはなぜなのかをお聞きしたかった。(50代女性)
- ・一般論で話されているのでしょうか？学校でのいじめが表に出ないことが多いと認識しています。学校ではいじめの実態を把握していないのだと思います。(60代男性)
- ・常日頃「いじめ」についてとても関心がり、一日も早くこういうことが無くなることを願っています。年齢的に自分は広報からの支援・見守りしかできませんが、学校での「いじめゼロ」を心から願っています。(60代女性 民生児童委員)
- ・子どもにも人権の話を伝えることが大切だが、子どもの人権に対する考え方は、周りにいる大人からの影響が大きいと思う。子育てを始めたばかりの方、学校に入っている子どもを持っている方、いろいろな機会に話を聞いてもらい、又ワークショップ等で振り返る機会を持ってもらいたい。(60代女性 民生児童委員)
- ・いじめの実態で、被害者経験者が加害者経験にもなるだと知らされました。(60代女性 民生児童委員)
- ・擁護委員として何ができるのか再認識できた。基本に戻り相談の対応や啓発活動に力を入れたい。いじめについての数多くの事例を紹介していただき、どのように対応したかについて話を聞きたかったと思います。(60代女性 民生児童委員)

【運営等】

- ・開会行事が堅苦しく、時間もとりすぎだと感じる。花束の贈呈もわざわざ皆の前でやる必要があるのか？学習する場ではなく、「セミナーをした」という形にとらわれすぎていないかなと思いました。「ありがとうございました。」等の挨拶に時間をとらないで、質疑に時間を割くなど中身を充実させた方が良いと思う。(40代女性)
- ・場内の温度がとても暑すぎたと思います。寒いとは言え、適温で設定された方が講演を聴くには良かったと思います。汗をかきました。(40代女性)
- ・開会行事は、時間通りに進行されると、講師の先生も時間に余裕を持ってお話しいただけたと思います。(40代女性)
- ・暖かい会場で、過ごしやすい中で、講演会を聞くことができました。(50代男性)
- ・東松島市における本セミナーは初めてと承知していますが、度だけでなく継続的に開催していただきたい。すばらしいセミナーでした。(60代男性 人権擁護委員)
- ・館内が前半暗すぎでした。後半は暖房が効きすぎていました。(60代女性 民生児童委員)
- ・いじめについての数多くの事例を紹介していただき、どのように対応したかについて話を聞いたかったと思います。(60代女性 民生児童委員)